

日本一美しい村つくらまいか



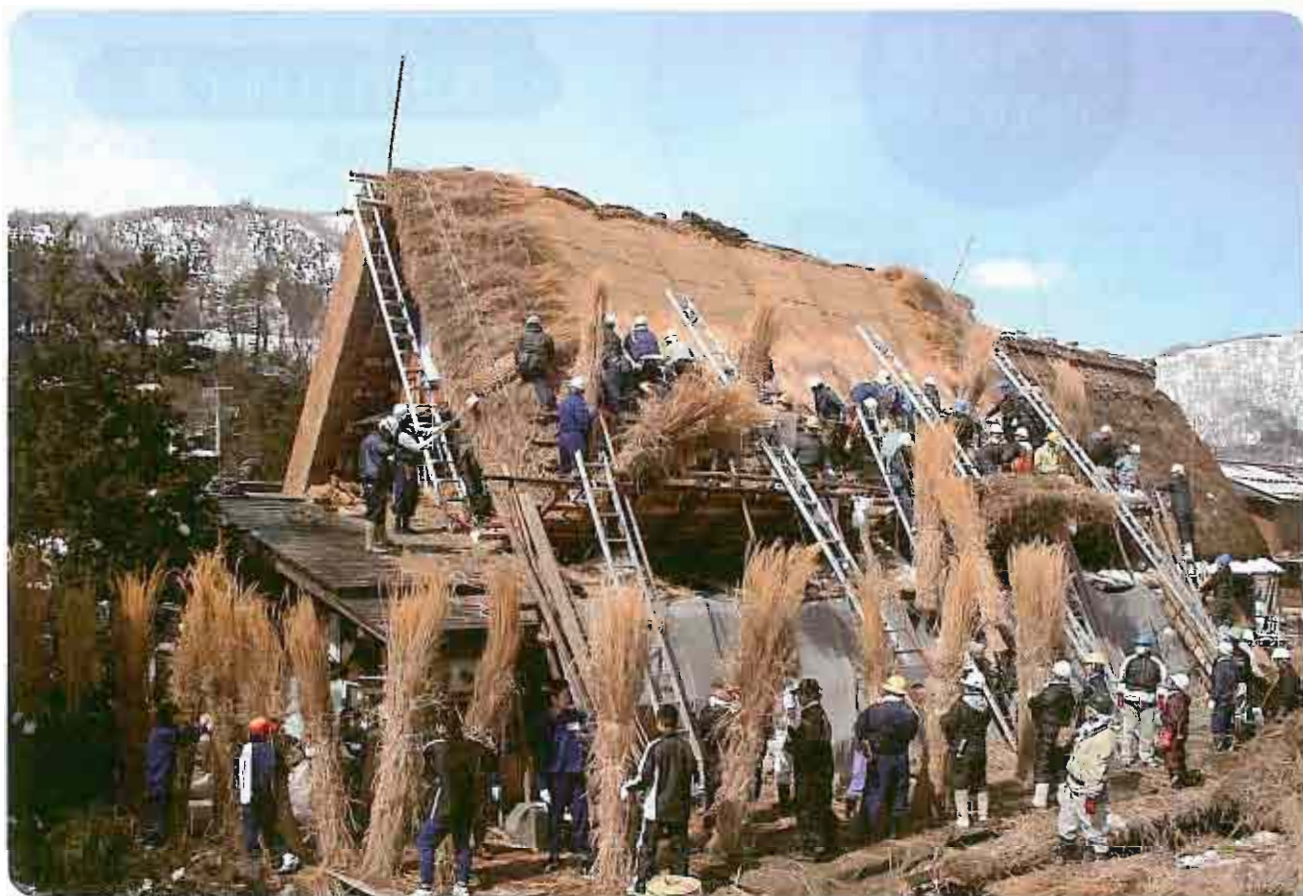
広報

しらかわ

SHIRAKAWA

2010年4月12日発行

第465号



「結心育む合掌屋根葺き」

(P13参照)

4月号

平成22年度当初予算…2ページ
議会だより…4ページ
統合整備委員会だより…8ページ
新入園・入学おめでとう…18ページ



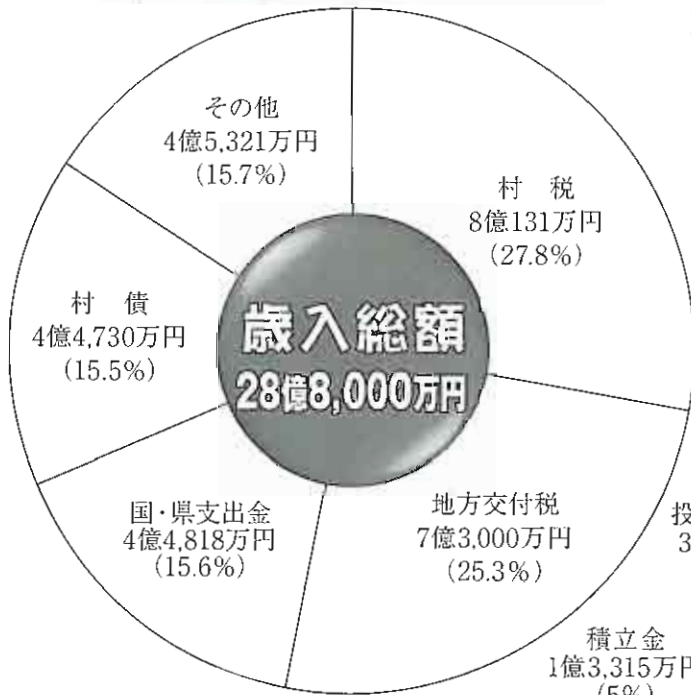
the most beautiful
villages
in japan

平成22年度

白川村当初予算

グラフ1

一般会計歳入



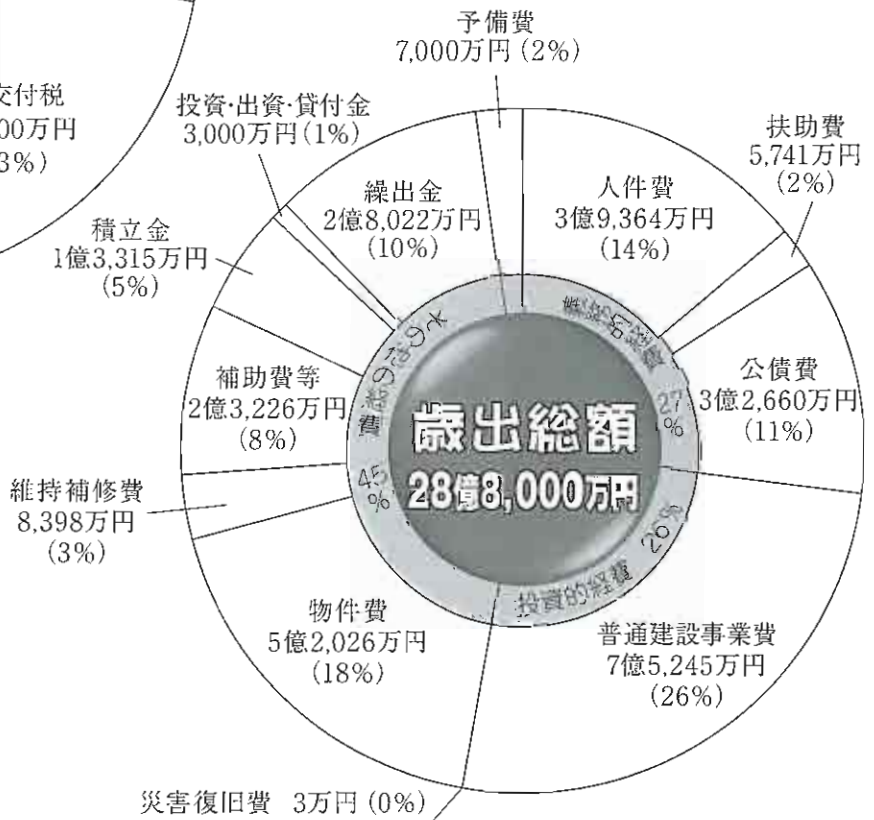
全会計

総額 **38億9,160万円**

村の一般会計と特別会計(8会計10勘定)の新年度予算が3月18日(木)、村議会定例会で議決されました。村に入るお金と、その使い道について、詳しくお知らせします。

グラフ2

歳出性質別予算



規模 ■ 一般会計は前年度より 5・7%の減額
 一般会計の予算額は、前年度より1億7500万円減額の28億8000万円になりました(歳入と歳出の内容について、それぞれ円グラフとしましたのでご覧ください)。特別会計の合計額は4%増えて10億1160万円になっています(各会計については、予算額の推移の表を参照ください)。一般、特別会計の総額は、対前年度比3・4%減の38億9160万円となりました。

◆ 一般会計・歳入 ■ グラフ1
 約28%を占める村税のうち最も大きなものは、発電施設等に係る大規模償却資産税で、4億9017万円が計上されています。地方交付税、村債とも前年度より若干少なめに計上されました。全体的に減少傾向のなか、小呂駐車場使用料など増額が見込まれた項目もあります。

◆ 一般会計・歳出 ■ グラフ2
 経常的に支出しなければならぬ義務的経費が、昨年より約18%減りました。これは、子ども手当支給により扶助費が増えたものの、人件費と公債費が大きく減ったことによります。普通建設事業費のなかで最も大きなものは、継続2年目となる統合小学校建設の2億7342万円、この統合小新築に伴い行われる中学校の大規模改修事業1億6385万円と、いずれも教育費の項目となりました。他には、除雪関係事業費(9000万円)、財政調整基金積立金(8500万円)、白山林道管理一般経費(6094万円)などが前年より大きく増額して計上されています。

◆ 特別会計
 診療所に係る会計である国保直診勘定が年々減少傾向にあります。簡易水道会計が増えているのは、大郷簡易水道改良事業2億2731万円の計上によるものです。下水道会計では毎年計上していた500万円の積立金が削減されています。

平成22年度 おもな事業

■総務費

第六次総合計画策定事業	764万円
地域振興定住対策補助経費	600万円
公有財産台帳電子化整備業務委託経費	536万円
庁舎軒天改修事業	437万円
日本で最も美しい村連合総会開催経費	223万円

■民生費

子ども手当支給事業	3,244万円
県単福祉医療費助成事業	939万円
生きがい活動支援通所事業	400万円
ホームヘルプサービス事業	300万円
結婚支援事業	200万円

■衛生費

塵芥処理経費	1,791万円
久美愛厚生病院移転新築施設整備負担金	1,000万円
し尿処理経費	972万円
住民健康診査事業	706万円
筋力トレーニング事業	536万円

■農林水産業費

白山林道管理一般経費	6,094万円
地籍調査事業	1,511万円
花街道・花いっぱい運動推進事業	1,024万円
公有林整備事業	907万円
中山間地域農村活性化総合事業	813万円

■商工費

せせらぎ公園管理事業	7,540万円
公衆便所管理事業	884万円
せせらぎ公園管理臨時経費	750万円
合掌家屋屋根葺替事業補助	677万円
観光協会補助事業	600万円

■土木費

除雪関係事業	9,000万円
村道木谷稗田線改良事業	2,802万円
村道戸ヶ野島線舗装補修事業	2,500万円
村道鳩谷馬狩線法面改修事業	2,300万円
平瀬街なみ環境整備事業	2,150万円

■消防費

高山消防署白川出張所事務委託料	8,293万円
-----------------	---------

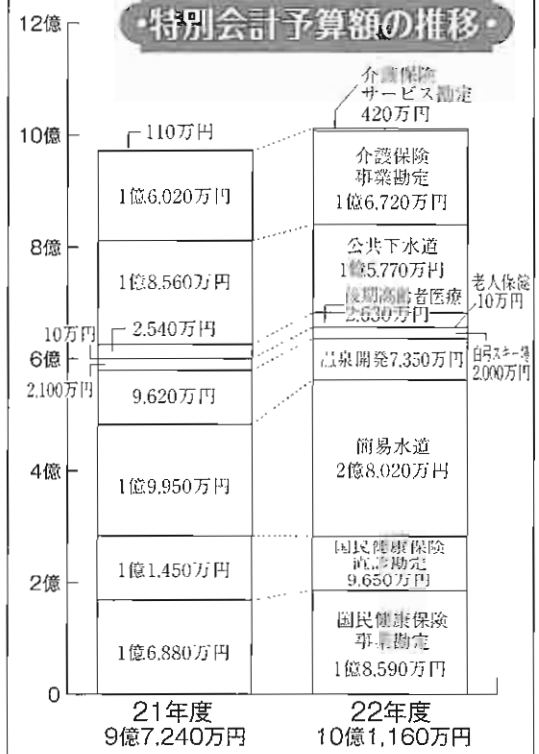
■教育費

統合小学校建設事業	27,342万円
中学校大規模改修事業	16,385万円
重要伝統的建造物群保存地区保存事業	5,200万円
合掌造り保存財団補助事業(総額)	3,160万円
中学校校舎渡り廊下整備事業	3,093万円

歳出目的別予算額

款	当初予算	構成比	対前年度増減額
議会費	2,607万円	0.9%	△77万円
総務費	3億4,321万円	11.9%	6,511万円
民生費	2億2,879万円	7.9%	2,715万円
衛生費	1億3,208万円	4.6%	2,433万円
農林水産業費	1億8,323万円	6.4%	△127万円
商工費	2億4,077万円	8.4%	985万円
土木費	3億9,119万円	13.6%	△1億2,837万円
消防費	1億1,528万円	4.0%	△1,098万円
教育費	8億2,274万円	28.6%	△2,020万円
災害復旧費	3万円	0.0%	△1万円
公債費	3億2,660万円	11.3%	△1億5,420万円
諸支出金	1万円	0.0%	0万円
予備費	7,000万円	2.4%	1,436万円
計	28億8,000万円	100.0%	△1億7,500万円

特別会計予算額の推移



新年度予算では、継続して実施している大規模事業の2つ(統合小学校と大郷簡易水道)以外は、特に目立った大きな事業はありませんでした。村は将来に向けて健全な自治体運営を進めていくために、行財政改革をしっかりと予算に反映させたものとして、多くの単独事業を実施しているため、当該年度も地域が要望する公共事業については柔軟に対応していきたいと考えています。

これらの予算の執行状況については、今後当誌面において公開していきます。また、予算の内容については、さらに詳しいことが知りたい場合は、役場総務課政策担当財政係までお問い合わせください。

議会だより

永住外国人に対する地方参政権付与に 慎重な対応を求める意見書を提出

3月5日(金)から18日(木)にかけて、平成22年第1回白川村議会定例会が行われました。

議会では村長施政方針や意見書の提出、議案の審議等について審議され、全て原案通り可決されました。

□白川村の公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
 大白川温泉観光株式会社を、派遣できる特定法人に追加しました。

□白川村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について
 条例施行に必要事項は、村長が定めることになりました。

□白川村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
 一般職職員の給与に関する法律等の一部改正により、職員の1日の勤務時間8時間を、7時間45分に改めました。

□白川村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

一般職職員の給与に関する法律等の一部改正により、勤務時間を改め、新たに育児短時間勤務制度を取り入れられました。

□白川村非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
 環境保全監視員の人数削減に伴い、報酬年額3万円を5万円に改めました。

□白川村国民健康保険基金条

例の一部を改正する条例について
 老人保健が後期高齢者医療保険へと移行したため、設置目的を変更し、合わせて介護納付金にも基金を運用できるようにしました。

□白川郷民俗館の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について
 指定管理による委託を取りやめ、村直営で運営することになりました。

□白川村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
 国民健康保険法施行令の一部改正により、基礎賦課限度額47万円を50万円へ、後期高齢者支援金等賦課限度額12万円を13万円に改めました。

□白川村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
 国民健康保険法施行令の一部改正により、基礎賦課限度額47万円を50万円へ、後期高齢者支援金等賦課限度額12万円を13万円に改めました。

□寺尾駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について
 平成21年度整備した寺尾駐車場を、平成22年4月1日から供用開始するため制定されました。

□指定管理者の指定について
 ※施設の名称 寺尾駐車場
 ※指定管理者 (財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団 副理事長 成原茂 (白川村大字荻町2495番地の3)

※指定の期間
 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

※指定の期間
 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

□砺波広域圏事務組合の公の施設(CATV施設)を白川村小白川地区住民の使用に供することについて
 砺波広域圏事務組合が設置したCATV施設を、小白川地区の住民が利用できるように議決されました。

□永住外国人に対する地方参政権付与に慎重な対応を求める意見書の提出について
 政府・与党は永住外国人に地方参政権を付与する法案を国会に提出しようとしている。元来この法案は、戦前より日本国内に在住していた住民およびその子孫(特別永住者)の内、韓国籍を対象に自民党政権時代から議論が行われてきた。しかし、約41万人の特別永住者は、若い世代を中心に毎年1万人が日本国籍

□砺波広域圏事務組合の公の施設(CATV施設)を白川村小白川地区住民の使用に供することについて
 砺波広域圏事務組合が設置したCATV施設を、小白川地区の住民が利用できるように議決されました。

平成21年度補正予算

□一般会計(第4回)

増額: 2,863万3千円
 計: 3,942,511万1千円

増額の主なもの: 除雪関係事業費、長瀬地区水道施設新設事業費など

□国民健康保険特別会計(第4回)

〈事業勘定〉

増額: 847万7千円
 計: 2億1,283万3千円

増額の主なもの: 保険給付費など

〈直診勘定〉

減額: 739万0千円
 計: 1億2,130万9千円

減額の主なもの: 一般管理費など

□簡易水道特別会計(第4回)

増額: 698万8千円
 計: 2億1,955万4千円

増額の主なもの: 小白川飲料水供給施設配水管布設替事業費など

□温泉開発特別会計(第3回)

減額: 66万5千円
 計: 1億1,037万3千円

減額の主なもの: 温泉使用料など

□白弓スキー場特別会計(第3回)

減額: 301万0千円
 計: 1,924万5千円

減額の主なもの: 白弓スキー場リフト使用料など

□老人保健特別会計(第2回)

増額: 141万0千円
 計: 336万1千円

増額の主なもの: 医療費負担金など

□公共下水道特別会計(第3回)

減額: 589万0千円
 計: 1億8,026万9千円

減額の主なもの: 公共下水道施設管理経費など

□介護保険特別会計(第3回)

〈保険事業勘定〉

減額: 13万3千円
 計: 1億6,671万5千円

減額の主なもの: 地域支援事業費など

〈サービス事業勘定〉

減額: 65万4千円
 計: 382万5千円

減額の主なもの: 介護給付費収入など

□後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額: 184万3千円
 計: 2,425万6千円

減額の主なもの: 後期高齢者医療広域連合納付金など

を取得し、帰化によって参政権を得つつある。

また、永住外国人への部分的参政権は合憲とする学説があり、平成7年の最高裁判決の傍論にも影響を与えてきた。しかるに、最近、この学説の主唱者であった学者が自説を転換し、参政権付与は違憲であると主張するようになった。よって、参政権付与を合憲とする考えは根底から崩れつつある。

さらに、政府・与党案では、近年急増しつつある中国人を始めとする一般永住者にも参政権を付与しようとしている。わが国との間に領土や防衛など、外交上の懸念を抱えている国の在住者に参政権を付与すれば、地方を通してわが国の独立を脅かすことになり、間接侵略に等しいものになる。よってこのような疑義のある法案提出には、政府・与党に慎重な対応を求めらるものである。

この意見書は、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ、各大臣へ送られました。

平成22年度 白川村長施政方針

本日ここに、平成22年第1回白川村議会定例会の開会にあたり、提出議案の説明に先立ちまして、村政運営に関する私の所信を申し述べ、議員各位及び村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

今月末で、新・合併特例法が失効し、一部の特例措置は延長される見通しですが、長きに亘った市町村合併問題は、一応の終結を迎えることになりました。小泉政権が、「平成の大合併」で強力で進めた「自治体減らし」でしたが、最近の国の感觸では、合併を積極的に進める様子はなくなりました。当時の国や県は、地方交付税を大幅に削減するという説明をしていましたので、将来の財政難を案じて、仕方なく吸収合併していった小規模町村も少なくないと思うのですが、現在までの情勢を見れば、説明にあつたような交付税の削減はそれほどでもありませんし、逆に景気や雇用などへの対策経費が上積みされていて、地方の末端までも手厚い措置がとられているような印象を受けております。

12年前、全国に3232あつた市町村は、今月末で実に46%も減り、1727になる見込みだそうです。私は当時、合併ありきの風潮に逆らつたわけですが、勇気を持つて単独の道を選び、それによつて白川郷の文化を私たちの手で守り続けることが出来たことは本当に良かったと、後押しをしていただいた村民の皆様には、今は心から感謝をしている次第です。

とは言いましても、大きな高山市と合併せず、小さな単独村として残るのは、なかなか容易なことではありませんでした。存続するために独自の財政計画を立てて、以降、これに沿って全ての事務事業について見直しを進めてまいりました。その結果、現在は税収、交付税ともに大きな落ち込みもなく、職員削減も進み、大規模公共事業も計画的に実施することができています。これは、自助努力で合理化を進めた成果であり、だからこそ、今回の22年度予算も、基金を取り崩すことなく、無事に組むことができたのだと考えております。しっかりと行財政改革を実行したことが、現在の村の姿に表れているのであります。

私はよく職員に「昨日の常識は今日の非常識である」と言います。こうした意識改革は、今最も重要なことであり、今後とも延々と行わなければならぬ課題だと考えています。また、改革を進めることは、村が自立を目指した責任でもあり、ひいては村の発展につながるものと、肝に銘じて、日々自治体運営を司っているところであります。

さて、国は平成22年度予算を、国債発行額を約44兆円、国債依存度は48%という過去最大の92兆円としています。「いのちを守る予算」と銘打つて、コンパクトから人へ、政治主導の徹底、予算編成プロセスの透明化、という3つの変革を盛り込んだと発表しています。

原口総務大臣が「地域主権の確立」を主要施策に掲げ

て、「地方が自由に使える財源を増やし、自治体が地方のニーズに適切に答えられるようにするため、地方交付税を増額」として、約9000億円を上乗せし、地方交付税を17・5兆円としたこと。また、新たな過疎対策の予算も前年以上に確保されていることは、村としても大変注目しているところであります。

岐阜県の財政が、非常に厳しい状況にあることは、折に触れて聞き及んでいることと思ひます。先ごろ、県は向こう3年間の取り組みとして、「行財政改革アクションプラン」を発表しました。先ほど述べましたように、改革は最重要課題であり、実行あるのみです。この危機を乗り越えて、正常かつ健全な地方自治をわが村は進めていきたいと思ひます。

このような社会情勢の中で、村は22年度当初予算を編成しました。「日本一美しい村 白川郷」という、大きな夢と希望に満ちた目標を掲げて、村はこの9年間、ひたむきに村づくりを進めてまいりました。また、来たる22年度は、いよいよ第五次総合計画の最終年度になっています。統合小学校の建設は当該年度で完成します。小中一貫教育を目指して中学校を大改修し、小学校と渡り廊下でつないで施設を一新します。来春の新村立小学校開校に向けて、最高の教育環境を整えるべく施設整備を行います。

観光客の増加に伴って、水不足が深刻な問題となつていました。大郷簡易水道は、16年度に着手し、当該年度配水池の整備を行い、全て完了します。先日、断水してご迷惑をかける不測の事態も起こりましたが、今後はこのようなことのないよう基盤整備を確実に行つてまいります。

そのほか、各地域の区長からの土木要望事業は、今回全面的に予算化させていただき、さらに単独事業として緊急の要望にも適切に対応できるように柔軟に予算の確保をしているところではあります。これは、政府の経済危機対策として、21年度には1億7600万円、20年度にも7600万円、あわせて2億5200万円の交付金が村に入り、様々な事業を実施できたことによるもので、建設業をはじめとする村内の経済活動が、ますます活性化するように、今後とも対策を講じていきたいと考えています。

世界遺産登録から、今年で15周年という節目の年を迎えます。今日の村の繁栄を維持するには、「勝つてかぶとの緒を締めよ」ということわざにもならない、やはり根幹となる保存体制をしっかり確立することが必要だと思ひます。記念行事などについては、地域としっかり話し合いながら共同でこれを進めたいと考えています。

また、日本で最も美しい村

連合が発足から5年目を迎え、当村で記念行事を開催することが決まっています。北海道美瑛町、北海道赤井川村、山形県大蔵村、長野県大鹿村、徳島県上勝町、熊本県南小国町、いずれも地域おこしで全国に名を馳せた7町村が集まり設立したもので、白川村も当初からこれに名を連ねています。私は各地の見習うべき良い一面は見習うことで、今後の村づくりに大いに役立てていきたいと考えています。

最後になりましたが、冒頭にも述べましたとおり、行政改革の継続により、小規模でも村民が安心して暮らせる堅実な村を、さらに確立していく所存ですので、今後も変わらず皆様のご理解とご協力をいただきたいと思います。

一般質問

岐阜県行財政の実態と我が村の対応について(松井議員)
Q、岐阜県は3力年間で920億円という巨大な財源不足を解消することを前提とした新年度予算編成を行います。県財政についての見解と、県財政悪化による村への影響について。また、建設業は厳しくなっていますが、村内の建設業者に対してどのようにお考えでしょうか。

A、県の財政が悪化した原因として、県税が予想以上に減ったことと、借金の返済を規定通り行わず繰り延べしてきたことが挙げられます。これらの対策として、行財政対策の取り組みをまとめた「行財政改革アクションプラン」が示され、県から説明を受けているところです。その中で、まず職員の採用を減らすことにより人件費の削減をはかっています。また、福祉事業など県単事業の負担比率を下げること、歳出削減をはかっています。村への影響もあるといえます。

今年の6月には福島第3トンネルが完成します。県財政は厳しいところですが、第1・第2トンネルの工事についても、引き続き進めていただこう、議会協力の下要望をしたいと考えます。東海北陸自動車道の4車線化については、県負担が受けられない場合、中日本高速道路株式会社もつことになるのではと考えます。こちらも各種協議会を通じて、陳情要望をしていきます。

村内の建設業は厳しい状況が続いています。地域から要望があった公共事業については、地域の業者で仕事をやっていただけるようにしたいと考えます。

久美愛病院完成後の村の医療体制について(新合議員)
Q、東海北陸自動車道の全通

により村外の医療機関にかかると。患者数が増え、特に白川診療所では患者数が激減したとのことです。

平成24年3月、高山市に久美愛厚生病院が開業すると伺っています。現在2箇所ある診療所についてはどうするお考えでしょうか。もし1箇所になってしまふのであれば、患者数があまり減っていない、近くに老人福祉センターや瀬音さくら山荘がある、また平瀬地区の活性化を考え、平瀬診療所を残すことを希望します。村での準備等対応についてお聞かせください。

A、確かに白川診療所の患者数は減っています。専門的な治療については村外の医療機関へ行かれる方が多いと思われ、高齢者の方々は、やはり地域にある近くの診療所に行くのでは。「安心・安全な村づくり」のためにも、今後患者数がよほど急激に減少しない限り、診療所については現状のままの体制でいきたいと考えます。

平瀬小学校付近の浚渫について(新谷議員)
Q、例年高山土木に堆積土砂の搬出等を要望し、毎年浚渫を実施していただいています。今年度も平瀬小学校付近の河川の支障木を除去していただきましたが、堆積土砂の多さが目立つようになりまし

た。平瀬体育館は村指定の避難所でもあり、引き続き浚渫を要望します。

A、高山土木では土砂浚渫に際して、県財政の厳しい中、今年度約1000万円の予算をつけて頂きました。担当課との協議の結果、保木脇地区で4000m³の持ち出しを、平瀬地区では小学校付近の河川内にある立木について6000m³の伐採を行いました。結果、想定以上の土砂が堆積していることがわかりました。上流部についてもまだまだ多くの立木がありますので、継続して伐採を進めていくと同時に、土砂浚渫を県に強く要望したいと考えます。

小中連携教育の目標について(高桑議員)
Q、平成23年に開校を迎える統合小学校と白川中学校では、小中連携教育構想を立ち上げていくところです。小中連携という9年間の時間をかけて子どもたちをじっくりと育て、身近な目標設定のもと9年目の出口を意識した長期的な教育方針を、村と学校と家庭が共有して努力することが重要であると考えます。小中連携教育の基本構想と目指す具体像についてお聞かせください。

A、岐阜県と文科省は「中高一貫教育」が主流であり、その中でも岐阜県では、中学と

高校の連続性を持たせて指導していく「連携型中高一貫教育」を実施しており、現在八百津高校と揖斐高校があります。

白川村には高校がないため、小中一貫教育となりますが、教員による教育課程部会等を設立して、日々検討をしています。現在の構想としては、義務教育を9年間の一つのまとまりとして捉え、中学校の教職員が連携・協力・支援できる体制を構築し、小中学校が一体となることを目指します。

具体的には小中9カ年の年間指導計画の策定、小学校高学年の教科担任制、教科別専用教室型授業の展開と特別教室の兼用等、白川村ならではの教育と情報発信を行い、これらの実施により、村に対応した教育を推進します。

また、教員一人ひとりの力量を向上させるために、岐阜市の小中学校の研修校への派遣研修や出前授業について、平成22年度予算に計上したところですが、今後も小中一貫教育について、ゆるぎない信念で進めていきたいと考えます。

人事権に対しての見解について(高桑議員)
Q、新年度に向けて村の体制づくりの構想が進んでいる事と思えます。そんな中で、村民の方々から「今年度退職される職員の行き先が決まって

いる。天下りじゃないのか？」という声がありました。事実関係の確認と「天下り」に対しての所見についてお聞かせください。

A、「天下り」についてマスコミでも話題になっていますが、解釈の違いがあると思います。特に国のやつている、各省庁が色々な財団等や同じような仕事をやり、人を配置し高額の給料を渡す、それが「天下り」といえますし、廃絶すべきだと考えます。

確かに、今年退職する職員2人について合掌造り保存財団と、白山スノーパーク林道へいってもらうようお願いをしているところでは、公益法人制度改革により、現在の合掌造り保存財団について、公益財団法人化するのか、という問題をかかえています。白山スノーパーク林道については、今まで培った人間関係や設計もできる人材が必要とされています。これらの職について、公募で人材を見つければ、難しく、どちらの仕事も役場での経験が大いに活かされるものと考え、これ以上適任な人材はないと自信をもって薦めており、ご理解いただきたいと思います。

白川、平瀬両小学校の廃校問題について（小坂議員）
Q、小学校が統合された後の廃校利用について、特に平瀬小学校については南部地区の

活性化のためにも、どう利用する予定でしょうか、お聞かせください。

A、廃校利用については現在色々模索していますが、平瀬小学校については、教職員住宅や中央公民館としての利用を望む声もあります。また、大学等と連携し、体育館もありです。平瀬地内の旅館も利用してもらいながら、何が地域にとって良い影響を与えるか、活性化につながるかを最大限考えながら、今年の秋までには方針を決めたいと考えます。

外国人参政権、夫婦別姓問題について（小坂議員）
Q、政府・与党は、日本に住む永住外国人に地方参政権を与える法案を国会に提出しようとしています。私は反対です。また、夫婦別姓についても行うべきでないと考えますが、所見についてお聞かせ下さい。

A、外国人参政権については、議会として意見書を出すことを決めていただきましたが、私もその内容と同じ考えです。

夫婦別姓は、女性の社会進出に影響しているといえます。結婚して名字が変わることなどで仕事上の事情もあるでしょうが、これについてもいかなものかと思えます。

白川郷のこれからの観光について（森崎議員）

Q、最近多くの外国人観光客が白川郷を訪れています。昨年ミシュランのグリーンガイドで白川郷の世界遺産が3つ星を獲得し、「わざわざ旅行する価値があり見逃せない観光地」と高く評価され、世界的にも注目を受けています。県はインターネットショッピングモール「楽天市場」に中国語による特設ページを開設し、観光展で白川郷や下呂温泉などを紹介します。また、岐阜・富山県で構成する「越中・飛騨観光協議会」が発足し、補助金を活用した連携事業で2泊3日以上滞在型観光を目指しています。

このように、国・県を挙げての観光政策に対する村の観光受け入れ体制についてお聞かせください。

A、岐阜県は台湾、中国、シンガポール、タイなど今後増加すると予想されるアジア方面からの観光客誘致を図っており、岐阜県の顔として白川郷が取り上げられています。外国人観光客へのサービスとして、パンフレット関係を充実してきました。総合パンフレットに英語表記のものを、ドライブマップに英語・中国語表記のものを、荻町集落マップについては更に韓国語・フランス語表記のものを、荻町集落写真集について

はイタリア語表記のものを作成しました。見学施設の民家園や和田家でも、英語・中国語表記のものがありません。案内板については道路案内板で英語、集落内歩行者案内板は更に中国語・韓国語のものを設置しています。

観光協会では英会話ができる職員をパートで採用し、せせらぎ公園案内所に配置しています。今後は村職員の採用についても、英会話のできる人材を募集していきたいと考えます。また、村民向けには中日文化センターの英会話・中国語講座を開講しています。

滞在型観光について、やはり合掌造りの民宿は魅力的で、多くのお客さんが宿泊をしています。それ以外の旅館や平瀬地内にも宿泊客の分散化がうまく図られるよう、関係者と話し合いを進めます。

近年、北海道や長野県のスキー場では台湾等からのスキー客が多くなっています。白弓スキー場にも台湾人観光客が多く来て、雪遊びをたくさん行っています。以前東京までセーリングスで行ったこともありましたが、白弓スキー場と連携した観光を視野に入れながら、引き続きトップセールスを行いたいと考えます。

雇用場所の拡大と財源の確保について（長瀬議員）
Q、建設業が厳しくなってい

ますが、村民の働く場所を確保するための方策についてどのようにお考えか。例えば、島根県の海士町では「ターニング」する若者が多く、彼らが商品開発や起業を起こすことで、雇用の拡大にもつながっているようにです。

また、村の財源不足が予測される中、新税の創設など村独自の財源確保についてお聞かせください。

A、海士町については「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、よく知っています。海産物が豊富などところで、それらを活かした新商品開発に取り組んでいます。また、鮮度の高い海産物を首都圏などへ出荷しています。

村にあてはめると、農産物を活かしたもの、低農薬でおいしい物をいかに作れるか。行政はスリム化が進んでおり、専任の職員をおくことが難しい状況です。民間にできることは民間に任せ、新しい特産品の開発に挑戦してほしい。そして、雇用の拡大につながるればと考えます。

新しい財源については、市町村合併当時議論しましたが、意見がそれぞれ分かれているところです。現在、せせらぎ駐車場の利用料で一部協力金を徴収していますが、税としてしまうと難しい問題があると思いますので、今後議論したいと考えます。

(4) その他

※自分が生まれたこの“白川郷”の歴史や文化について学べる時間をしっかりと取ってほしい。(2名)※人の気持ちのわかる子。※どの面でも良い意味で競い合い高め合う仲間作りをしてほしい。※体調が悪くなった時(家が留守)※すべてにおいて①小中連携教育を最大限に生かし、②各校、地域の特色を失わない指導をお願いします。※2学期制にしたらどうかと思います。※平瀬地区の親の負担が立地的に多くなるのではないかと考えます。※すぐにすねる(キレル)子が多い。※家庭教育というものをもっと研究しないと塾のない白川は私立高校の入試にある発展問題に対応できない。※教師がしっかりと子どもをみること。特に小学生は担任が大切である。小中一貫教育と言っているが、そのために子どもをしっかりとみれないなどということがないように。※最上学年(中学3年生)が頑張っている姿を後輩、下級生にもそれが分かる、見習う環境づくりをお願いする。※話し名人、聞き名人。※管理職体制は両教頭、両校長あるのか。教育の施設は小中移動、併用化、どの程度か。授業時間の小学校45分、中学校50分がどうなるのか。小中の教員がどのように交流授業をするのか。昔のように小学生が中学生に依存し、独自性・自立性が失われないか。※子どもが楽しい学校、親が安心して通わせられる学校。※小中一貫教育はどのような教育なのかよくわかりません。※学力と人間力の備わった児童を育ててほしい。

2. 現在の小学校の教育内容で、統合小学校でも引き続いて力を入れてほしいものがありましたら、お聞かせ下さい。

※各校、地域の特色を失わない。※田づくり等での縦割りの班での活動。※「世界遺産」の維持に少しでも関心を持ってほしい。※トヨタ自然学校も近いので、できるだけ自然にも興味をもってほしい。※他の学校と違って色々な意味でオープンにするようお願いいたします。※徹底したあいさつ運動。※第一は道徳教育を村としての盛り上がりになってほしい。※スキー教室、(小学校の)スキー大会を続けてほしい。※収穫祭、校下運動会の参加、低学年と高学年の帰宅時間はどうなるのか?※地域学習で南部地区の題材も取り入れてほしい。実際、中学校が統合してから南部地区へ学習に来ることや題材に取り入れていることがないように感じる。※あいさつ名人、おはなし名人、縦割り班活動。※村営のスキー場があり、スキーは冬場の雪国ならではのスポーツなのでスキー場の活用を多くし、スキー大会を継続してほしい。※郷土を愛し、誇りをもてる子に育ててほしい。※白川の大地から学ぶ教育は続けてほしい。※総合学習の中で郷土から学ぶ場をこれからも大切にしてください。※思いやりの心(あいさつ、ボランティア、郷土を愛する心など)。※いじめ、学校に行かない子がないように勉強が楽しくできるようにしたいです。※頻繁にテストをして本当に理解できているか確認してほしい。※近代学校教育の核と言われている小中一貫(連携)教育の充実化と教育レベルの向上。※小中職員会は教育活動推進、職員相互の理解と協調のために必要。※挨拶のできる子供はとて素晴らしいと思います。少ない人数だけでも絆は強いなあと思います。※スクールバスになるとますます挨拶する機会が減るので心配。子ども自身が自分から行うことが大事だと思う。

3. 統合小学校で心配してみえることがありましたら、お聞かせください。

※(バスの)安全、安定輸送をお願いしたい。特に冬期間は子どもが小さいので心配である。※自宅から離れる児童が増えるため、緊急時等、保護者に代わって対処できる体制を考えてほしい。※通学バス内、道路上の安全確保。※中学生の規律が乱れると小学生に伝搬する速度が速いので、特に高学年の生徒指導が重要に思う。※バス通学について不安、低学年と高学年の時間。※バス通学中の事故が心配、自然の力は恐ろしい、人間の造ったもの(バス、雪崩止、スノーシェッド)に完全なものはない、知識より命。※バス通学が心配、バス酔いしたり用便をうながしたり、低学年はどんな事がおきるかわかりません。車中の安全を管理する人を(教師かシルバーでも)是非おいてほしい。※バス停はどうなるのか。少人数から大勢の中に入るので仲良く学習や遊びができるか。いじめはないか心配です。※中学生の行事をみると全て白川校区で行われている。今まで小学校であった行事の全てが地域の人から遠ざかっていくのではないかと不安である。遠足やスキー大会だけでも南部地区で行えるようにしてほしい。また、今は各地域の祭礼を休みにして地域の行事に参加しているが、統合したらどうなるのか、心配である。また統合することで先生方の住まいが全て白川校区になり、南部地区に先生がいなくなってしまうのではないかと不安である。※バス通学における体調不良の場合、安全面、子供たちのまじわり方。※早朝の通学となりますので朝食をしっかりと食べ、余裕をもって通ってほしい。※バス通学なので事故がないか心配な点がありますが、運転手さんには安全運転をお願いします。平瀬地区がどうしても負担はかかる点が多いかなと思います。※南部地区児童の通学(バス通学)の円滑化を……。※子どもが増えることは良いことではありますが、特に1~3年は平瀬・白川との隔たり、地域差、友だち関係等気配りをお願いします。平瀬小学校と白川小学校では環境が違う面が多く、白川地区のように観光地で親がなかなか学校の行事等に積極的に参加できない状態があると思います。平瀬地区の子どもたちに迷惑がかからないか心配です。※いろんな行事を各地区のお年寄りの方々に見せてほしいです。※いじめのない学校づくりを要望します。※不登校などのないようお願いいたします。※平瀬地区、荻町、鳩谷、飯島地区等々、村全体につながりがあり、仲良くされているので心配ありません。関係者の皆様に感謝です。子を思い村を思う気持ちがいい方向になってきたと思います。※平瀬地区に学校がなくなることに、何か地域の方々に元気を与えるような取り組みが学校教育でできたらなあと感じています。

白川小学校・平瀬小学校

統合整備委員会だより

本年2月に実施しました「白川小学校・平瀬小学校統合に向けての村民アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。白川小校区、平瀬小校区合わせて55名の方から回答をいただきました。今後の統合に向けての作業の参考とさせていただきます。なお、紙面の都合上、文章を一部割愛させていただいたものがあります。

1. 白川村の統合小学校の教育では、どんなことに力を入れてほしいと思いますか？ 勉強面、生活面、運動面、その他の4つの面からお聞かせ下さい。

(1) 勉強面

※基礎的な学力の向上。(6名) ※小中連携を生かしてほしい。(3名) ※英語、外国語の充実等。(3名) ※一人一人にわかるまで教えてほしい、人数が多くなるとわからない子も出てくると思われる。(2名) ※苦手な科目のいねいな指導。(2名) ※興味を持たせる授業を。 ※落ちこぼれのないように。 ※個性を伸ばしてほしい。 ※自ら学ぶ姿勢を大切に。 ※今までは少人数での勉強のため、自分のレベルや競い合いを通じてよいと思う。 ※わかりやすく教えてほしい。 ※勉強、生活、運動面すべてが良くなるということで統合にふみきったのだから心配はしておりません。白川村の子供は末は博士か大臣か。 ※「どんどん勉強」は力がつくと思います。続けてほしい。 ※競わせない、争わせない、比べない、一人一人の個性を尊重し、個性を伸ばすような教育。 ※統合にも落ちこぼれがないよう集中して勉強ができる場にしてほしい。 ※統合で少人数では及ばないメリットを。 ※白川の歴史をもっと教えてほしい。 ※農業体験実習を多くする。 ※やる気チャレンジテスト。 ※本を読むことが全ての基礎 ※道徳教育。 ※家庭教育の充実。 ※みんなが理解できるように指導してもらいたい。 ※責任分担(学校10家庭1)。

(2) 生活面

※挨拶や礼儀をおろそかにしない、年上・年長者に対する言葉づかいがしっかりできる。(5名) ※感謝の気持ちや思いやりを大切にする。(2名) ※基本的な生活習慣の確立。(2名) ※小さな学校においてもいじめがないよう学校での生活等を良くみてほしい。(2名) ※清く正しい生活を身に付けること。 ※通学、下校時のあいさつ。 ※南部のバス通学で生活時間について差がないように。 ※今まで交わりのない白川、平瀬の子ども達が統合するので、お互いに色々な事を吸収してほしいです。 ※いじめに対する対応をしっかりとしてほしい。 ※人の話を聞く力をもっと考えていただきたい。 ※挨拶運動の徹底。 ※集団の中で適応する力。 ※生活する、生きる知恵という甲斐性。 ※勉強ぐせのつく子。 ※給食内容を充実し、食育の向上を。 ※地域に根ざした伝統行事、芸能への参加継承、故郷を意識してやがて村の担い手となってくれるような方向付けができれば嬉しい ※人見知りのない子に育ててほしい ※目標を持ち達成できるよう、努力することやルールを守ること ※自分のことは自分でする ※規則正しい生活、好き嫌いのない生活、行きたい学校。 ※道徳教育の充実。 ※中学生のすばらしい姿を小学生にも体感してもらえれば。 ※責任分担(学校5家庭5)。

(3) 運動面

※技より体力、基礎体力の向上。(5名) ※スキー教室(大会)、マラソン大会(2名)。 ※競い合いがあつてのびると思う。せいっぱい運動すること。 ※クラブ活動の充実。 ※オリンピック選手が毎年出るように。 ※小中合同運動会。 ※楽しく運動ができる。 ※基礎体力を強化しながら様々なジャンルのスポーツを教えてほしい。 ※特定の運動能力ではなくバランスのとれた能力、体力づくり。 ※「山の子」は田舎でしかできない運動をどんどん工夫して取り入れ体力アップにつなげてほしい。 スキー、マラソン、山登り等。 ※運動会の時のように皆で団結してその力を出し切る ※いろんなスポーツに挑戦させてあげたいですね。 ※競い合うことを否定せずに順位を決めることも必要ではないか。 くやしい思いを次につなげてほしい。 遊びを大切にしてほしい。 ※広場からはいつも子どもの声があつてほしい。 ※学校での体育の授業以外に体を動かすことをどんどん取り入れてほしい。 ※ノビノビと教えるのは昔のこと、今はビシバシと。 ※責任分担(学校5家庭5)

村職員の人事異動

異動は4月1日、
退職は3月31日付

役場では、4月1日付で職員
の異動・昇格を行ないまし
た。平成22年度の職員配置に
ついては、別紙事務分掌表を
ご覧下さい。()は前職

◇参事・課長級

参事兼総務課長

板谷 孝明

(参事兼産業課長)

参事兼産業課長

宮脇 紀忠

(村民課長)

◇課長級

村民課長

向 長和

(村民課 保育園長)

村民課 保育園長

谷藤 博章

(産業課 課長補佐)

会計管理者

水野 慎治

(総務課 課長補佐兼議事会事務局長)

教育委員会事務局 事務局長

宮丸 和之

(総務課 課長補佐兼財政係長)

◇課長補佐級

総務課 課長補佐兼議事会事務局長

岩本 一也

(産業課 商工観光係長)

総務課 課長補佐兼財政係長

近藤 久善

(教育委員会事務局 文化財係長)

村民課 課長補佐

岩本 巳保子

(会計室 課長補佐)

産業課 課長補佐

飯波 直文

(世界遺産合掌造り
保存財団事務局長)

◇係長級

村民課 村民福祉係長

松下 雅樹

(総務課 消防係長)

産業課 商工観光係長

古田 直樹

(村民課 村民福祉係長)

◇主査級

総務課 庶務係主査

田口 貴之

(産業課 商工観光係主査)

総務課 管財係主査

鈴木 翔

(総務課 管財係主任)

総務課 環境計画係主査

白木 秀史

(総務課 環境計画係主任)

総務課 財政係主査

尾崎 達也

(総務課 財政係主任)

産業課 商工観光係主査

西村 利夫

(教育委員会事務局
生涯教育係主査)

会計室 会計係主査

小坂 奈緒美

(村民課 村民福祉係主査)

◇主任級

村民課 保健衛生係主任

榎 理恵

(村民課 保健衛生係主事)

◇新採用職員

村民課 診療所

鈴木 久美

村民課 保育園

大倉 奈美

◇退職

参事兼総務課長

木下 喜実雄

会計管理者 腰山 恵一

教育委員会事務局 事務局長

山下 武久

村民課 診療所 係長

山下 信子

村民課 診療所 係長

山下 千代美

教育委員会事務局 生涯教育係

森下 明子

村民課 保育園 (臨時)

堀田 翔

白川村を元気にする声!!

第1回

村では第六次総合計画を策定中です。「白川村を元気にする声」と題し、皆さんからのご意見・ご提言を募集し、それらを計画に役立てたいと考えています。これまで寄せられたものを、数回に分けて紹介します。

また、4月からは特設アドレスをもうけ、電子メールでも募集していますので、よろしくお願い致します。

(メールアドレス) minnanoiken@vill.shirakawa.lg.jp

白川村にも高齢化の問題があります。お年寄りだけの世帯では、病院への通院、冬場の雪がき、雪おろしなどの重労働、など多くの問題があります。そこで村が音頭をとって若者を集め、雪おろしなどの「お助け隊」を作ってみてはいかがでしょうか。お年寄りの世帯が孤立しない取り組みを期待します。(匿名希望)

●お問い合わせ 総務課 環境計画係 6-1311まで

寄附

飛騨信用組合理事長

林 謙三氏

3月15日(月)飛騨信用組合(本部 高山市本町)の林謙三理事長が、創立55周年を記念して村へ50万円を寄附されました。子育て支援事業として大切に使用させていただきます。



激励

山下 達也君

3月25日(木)第16回日本リトルシニア野球全国選抜大会に出場する、平瀬の山下達也君(白川中1年生)が役場を訪れ、谷口村長に抱負を語りました。

山下君は富山市にある「富山リトルシニア」に所属し、毎週土曜・日曜日は1時間半



上手 重一氏

3月17日(水)荻町の上手重一氏が、村へ100万円を寄附されました。父親である故芳一氏の遺志に従い、生前お世話になった村の社会福祉のために使っていただきたいとのこと。大切に使用させていただきます。

かけて練習に通っています。山下君は「初戦は開会式直後の京セラドームでの試合。全力を出し切りたい」と語り、谷口村長は「大きな目標に向かって頑張るって欲しい」と激励しました。

※同大会は3月28日(日)から大阪で開催されました。富山リトルシニアは初戦を見事突破しましたが、2回戦で惜しくも敗れました。

感謝状

田本 政英氏

少年柔道の指導と育成に尽力された功績により、村青少年育成村民会議から感謝状が贈られました。

田本氏は平成19年3月から鳩谷駐在所で勤務されましたが、春の定期人事異動で県警察本部交通規制課へ転勤されることになりました。



診療所だより

伊左次 悟先生



5年間を振り返って

おかげさまで白川村で6年目を迎えることができました。桜の咲いていた岐阜から初めて白川に赴任した日、寒さと不安で逃げ出し、寒さとなつたのも今ではいい思い出です。

村に来て最初に取り組んだことは一人診療所でプロとしていかに成長を続けていくかということ。良い師、スタッフ、村民皆様に支えられながら3年くらいで形を作ることができました。このことが現在では自分のみならず学生研修医や多職種間での教育にも役立っています。また富山大学、南砺市のご指導のもと指導医の資格がいただける見込みです。

次に重視したのは現場での心の診療のニーズに応えることです。外部のセミナー等に参加しながら勉強し、教科書の翻訳にも参加しました。現在、診療所で

は心療内科の標榜を申請しています。

3つ目は愛知慈恵会、さくら山荘と出合つて高齢者包括ケアの整備に取り組みできました。単に老人ホームの入居者のことにとどまらず、「住み慣れた村で暮らし続けるために」をテーマに高齢者とその家族、そしてたくさんの方のスタッフといっしょに悩み、知恵をこぼって形を作ってきました。昨年度は村で最期を迎えた人が7割を超えという記録的な成果が生まれました。現在は村出身で新たにリーダーとなった大田忠広さん、南秀彦さんらとともに新たな体制づくりと発展、生活を支える地域リハビリテーションの推進などに取り組んでいます。

「村にいと世でできる」と心配していただくこともありますが、このように生き生きやれています。引き続き皆様のご指導、ご支援よろしくお願ひします。

カメラさんぽ topics

J1入り目指して

3月1日(月)プロサッカークラブFC岐阜の選手とスタッフが役場を訪れ、今シーズンのPRを行いました。この日は、選手代表としてゴールキーパーの重成俊弥選手が、成原教育長に選手のサインが入ったボールを贈呈し、健闘を誓いました。

FC岐阜は現在J2に所属しており、J1昇格を目指して頑張っています。今シーズンは、ホームスタジアムである長良川競技場が改修工事のため、ホームゲームのほとんどを長良川球技メドウで行います。サッカー専用スタジアムになりますので、客席からピッチが近く、選手のプレーを間近で見ることができます。是非、皆さんもスタジアムへ足を運び、FC岐阜を応援しましょう。



あなたの情報をお待ちしています。

☎ 6-13-11 内線126

まちづくりを探る勉強会

3月2日(火) 役場で、わくわくビジョン勉強会が行われました。

この勉強会は、大郷地域の景観、生活環境の向上と振興発展を目指し、今年2月に設立した「大郷ふる里づくりの会(会長 蟻原 勸さん)」が主催したもので、(株)御祓川(みそぎがわ) 代表取締役の森山奈美さんを講師に招いて、講演をしていただきました。

森山さんは石川県七尾市で地元の川に着目したまちづくり・地域おこしを実践しており、自らの体験をもとにした講演に参加者たちは熱心に聞き入り、意見交換会では様々な意見を交わし、まちづくりに関する多くのヒントを得たようです。



白川郷の民話をCDに

白川村商工会が白川郷の民話が入ったCDを製作し、3月4日(木) 同会会長の山越一正さんが白川中学校を訪れ、是非生徒たちにもきいてほしいと、高井信行教頭に手渡しました。

このCDでは、村に伝わる民話の中から選んだ7話を収録し、方言を交えて紹介しています。また、マップもついており、民話の舞台になった地域や名所を紹介しています。白川中学校の他、村内の小学校の児童たちにも、教材として進呈されました。



迫力と熱気あふれる和太鼓演奏

3月14日(日) 荻町の合掌造り民家「神田家」で、和太鼓奏者の加藤拓三さんによる演奏があり、訪れた村民ら約40人を魅了しました。

加藤さんは恵那市出身で、全国各地でも公演、演奏を行い活躍している和奏アーティストです。昨年は1年かけて恵那市内の各家々を回り、玄関先などで行った和太鼓ライブは、合計1000回を超えました。今年是国内の世界遺産14ヶ所を回るライブツアーを行うこと

にしており、第1回の開催地は同じ岐阜県人の1人として、白川郷での演奏を決めたとのことです。

演奏後に加藤さんは、「今の自分があるのは、家族や地域のおかげ。自分の生まれ育った土地を大切にしていきたい。そして、先人の作り上げてきたものや、人と人とのつながりに敬意を払い、この文化を将来にわたって継承していくてほしい。」と話してくれました。



「結」の精神を未来へ継承



3月22日(祝) 荻町の合掌造り民家「食堂いろり」で、

茅葺き屋根の葺き替えがあり、村民約140人が参加しました。

「食堂いろり」は、大正初期頃に飯島で建築され、荻町に移築された昭和54年以來31年振りの葺き替えとなり、東側の片屋根部分14.5㎡を村民同士で助け合う、「結(ゆい)」による作業が行われました。

白川中学校の生徒50人も、大人たちに習いながら茅運びなどを手伝いました。実際に体験して汗を流すことで、結の精神を学ぶとても良い機会になりました。

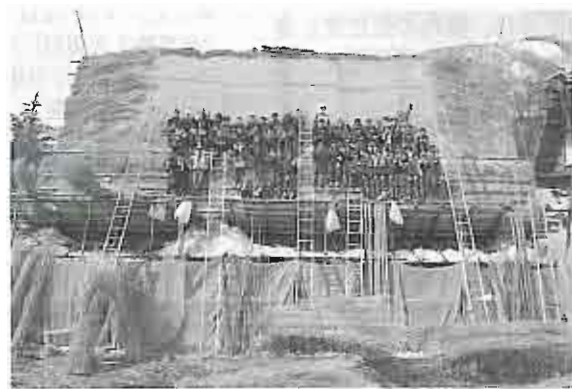
加須良集落消滅から学ぶ

3月26日(金) 白川村総合文化交流施設で、第29回G S暮らしつくが開催され、宇都宮大学名誉教授の柿崎京一さんが、講演されました。

講演は「加須良集落の遺した教訓」をテーマに、昭和42年に集落離村した加須良集落について、1774年(安永3)〜1876年(明治9)の間に家数が2軒しか変化がないことや、1909年(明治42)の火災時では多くの村民が加須良集落まで見舞いに



訪れていることから、当時の村民同士の強いつながりを証明。その後大手パルプ会社の立木買収や、林地の境界をめ



ぐる論争発生により、集落から転出者がでて、これまでの長い共同生活が崩れ、各家々が転出、加須良集落の消滅に至ったと説明されました。

柿崎さんは「人は1人では生きていけない。特に山の中で暮らしていくには、相互扶助、人々の心のつながりの強さが必要。経済が豊かになっても謙虚に、守るべきものは守っていく。加須良集落のようなことは現在の白川村でも起こりうるかもしれないので、加須良の歴史を通して学んでほしい。」と話してくれました。

消防署だより

◆平成22年度 全国統一防火標語
「消したかな あなたを守る 合言葉」

◆職員紹介
4月の人事異動により、8名の新しい職員が配属となりました。



桜本 雅也
消防副士長
【居住地】
高山市荘川町



殿地 正幸
消防士長
【居住地】
高山市清見町



滝上 耕司
消防士長
【居住地】
高山市清見町



森本 博一
消防司令補
【居住地】
高山市中山町



萩田 隆男
消防副士長
【居住地】
白川村飯島



空 恭寛
消防副士長
【居住地】
白川村有家ヶ原



奈須 一
消防副士長
【居住地】
高山市新宮町



成原 卓
消防副士長
【居住地】
高山市花里町



3月中の火災と救急 火災 0件 救急 10件 救助 0件

白川村で仕事ができることに誇りを感じています。すばらしい郷土と、村民の方々の生命・財産を守るために精一杯、努力したいと思います。よろしくお願いします。



男/1,009,030人(694人減)
女/1,074,822人(572人減)

※平成22年2月1日現在、()内は前月の人口・世帯数との比較

INFORMATION

BOX 情報ボックス

INFORMATION BOX

平成22年度 インターネット県政モニター

インターネットで県政に関するアンケートなどにご協力いただける方を200名程度募集します。任期は平成23年3月末まで。

▶業務内容/①アンケート調査(年5回)への回答、②県政情報の口コミによるPR

▶応募資格/次の①~③をすべて満たす方
①県内在住で20歳以上、②過去3年間に県政モニターを未経験、③ホームページを閲覧できるパソコンを保有

▶応募方法/下記ホームページ申込フォームから <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11103/koe/monitor/monitor.22htm>

▶受付期間/4月1日(木)~5月10日(月)

▶問/県庁広報課 ☎058(272)1118

第64回岐阜県美術展

入賞入選作品は、県美術館などで展示します。詳しくは、県内の公立文化施設や市町村役場にある公募要項をご覧ください。

- 一般部(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、グラフィックデザイン)
 - ▶応募料/1点2,000円▶作品搬入/5月22日(土)・23日(日)岐阜県美術館(岐阜市)、5月20日(木)高山市・多治見市・恵那市▶問/(財)岐阜県教育文化財団 ☎058(277)1139
- 青年部(絵画、デザイン、立体造形、書道、写真)および少年部(絵画・デザイン、書写)
 - ▶応募方法/主に各学校を通じて
 - ▶問/県庁社会教育文化課 ☎058(272)8756

岐阜県男女共同参画 21世紀審議会委員

男女共同参画社会の実現に向け、審議会の委員として活躍していただく方を2名募集。

▶任期/平成22年7月1日から2年間

▶必要書類/専用の応募書に、「男女共同参画社会の実現のために私ができること」をテーマとした800字以内のレポートを添付し、郵送、FAXまたはEメールで

▶受付期間/4月21日(水)~5月20日(木)

▶応募先・問/県庁男女参画青少年課 ☎058(272)8236 〒500-8570(住所不要) FAX 058(278)2611

Eメール c11123@pref.gifu.lg.jp

労働相談会

県内にお勤めの方や県内の事業主の方を対象に、解雇・賃金などの労務間のトラブルのご相談にお答えします。

▷とき/4月13日(火)、5月11日(火)(毎月第2火曜日)11:00~12:00

▷ところ/県庁労働委員会室など

▷相談方法/面接(開催日の前日までに要予約)▷料金/無料▷申込先・問/県庁労働委員会事務局 ☎058(272)8792

多重債務面接相談会

▶とき/5月18日(火)13:00~16:00

▶ところ/東濃西部総合庁舎(多治見市)

▶相談方法/面接▷料金/無料

▶定員/先着6人

▶受付/5月6日(木)から電話で

▶申込先・問/県庁環境生活政策課 ☎058(272)8204

危険物取扱者保安講習

▶とき・ところ/6月3日(木)美濃市、6月15日(火)・7月6日(火)岐阜市、6月17日(木)恵那市、6月28日(月)・29日(火)大垣市、7月8日(木)高山市

▶受付期間/4月19日(月)~5月14日(金)

▶申込先・問/(社)岐阜県危険物安全協会 ☎058(264)3161

危険物取扱者試験 甲・乙・丙種

▶とき・ところ/6月13日(日)瑞穂市、6月20日(日)大垣市および高山市、6月27日(日)多治見市

▶願書配布/(財)消防試験研究センター岐阜県支部または各消防本部、県庁消防課、県各振興局(事務所)

▶受付期間/5月6日(木)~14日(金)

▶出願先・問/(財)消防試験研究センター岐阜県支部 ☎058(274)3210

平成22年保育士試験

▶とき/筆記8月7日(土)・8日(日)実技10月10日(日)

▶ところ/大垣女子短期大学(大垣市)

▶受付期間/4月1日(木)~5月12日(水)

▶願書配布・出願先・問/(社)全国保育士養成協議会 保育士試験事務センター ☎0120-4194-82

岐阜県資格・試験カレンダー

県が実施する資格・試験・講習情報はこちら <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11103/shikakushiken.html>

4月から県の組織や施設を見直しました

- 農業改良普及センター——農林事務所に統合
- 岐阜県総合医療センター、県立多治見病院、県立下呂温泉病院、県立看護大学——地方独立行政法人化
- ※利用者の皆様には、これまでと変わりなくご利用いただけます。
- 伊自良青少年の家、関ヶ原青少年自然の家、土岐少年自然の家、御嶽少年自然の家——施設の休止

問/県庁人事課
☎058(272)1111 内線 2175

地上デジタル放送での情報提供を充実!

岐阜放送のデータ放送で、「岐阜県からののお知らせ」として定期的に情報をお届けするサービスを試行的に実施しています。



岐阜放送の地上デジタル放送(データ放送)画面イメージ

データ放送「岐阜県からののお知らせ」をご覧になるには

①デジタルテレビのリモコンで岐阜放送(8ch)に合わせる

②リモコンの「d(データ)」ボタンを押す

③データ放送画面右下の「岐阜県からののお知らせ」を選択して「決定」を押す



※NHK岐阜放送局、東海テレビのデータ放送でも、県政情報や防災情報をご覧いただけます。

「ぎふポータル」 岐阜県公式ホームページ

<http://www.pref.gifu.lg.jp/>

ぎふモバイルサイト 携帯電話向けホームページ

http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/index_i.htm



岐阜県広報紙「岐阜県からののお知らせ」は各市町村広報紙などと一緒にお届けしています。ご近所が届いていない方がありましたら、県内のコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン及びサークルKサンクス)にもご用意していますので、その旨お伝えください。

特集

平成 22 年度当初予算 「財政再建と確かな未来づくり」

県では、今後3年間に約900億円の財源不足が見込まれる厳しい財政状況の中で、県財政の確実な再建と未来の岐阜県づくりの両立を目指してまいります。

平成22年度は、財政再建を進める一方で、喫緊の課題である「経済・雇用対策」に力を入れるとともに、県民生活と地域社会を守り、確かな未来づくりを進めるため、「安全・安心」、「環境」、「地域の魅力づくりと観光・交流の促進」の3つの分野について重点的に取り組んでまいります。

☎ 県庁財政課 ☎058(272)1130

岐阜県の予算

Web検索

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/yosan/>

一般会計予算
7,502億円
対前年度当初予算比
マイナス1.3%

緊急経済対策と 安定的な景気回復へ！

経済危機の克服

5,300人規模の新たな雇用創出

介護、医療、農林など「人材不足が懸念されている分野」や、環境・エネルギー、観光など「将来の成長分野」を重点に、人材育成と就労をセットにした雇用創出に取り組みます。

……………9億712万円

緊急金融支援

県制度融資「経済変動対策資金」の新規融資目標額の増額や信用保証料の引き下げなどによる中小企業への金融支援を実施します。

……………977億5,000万円

(新規融資目標額)

国内外の市場開拓

インターネットを活用した消費者直結型の販路拡大など従来と異なる販路の開拓に取り組み、長期的に利益を拡大できるビジネスモデルへの転換を促進します。

……………3億5,158万円

生活と地域を守り、確かな未来へ！

重点分野の施策

安全・安心

- ドクターヘリの導入 ……………5億1,824万円
- 小児救急医療の体制整備 ……………1億5,003万円
- 特別養護老人ホーム等の整備促進 ……26億1,546万円
- 子育て環境づくりの支援 ……………1億5,500万円

環境

- 第30回全国豊かな海づくり大会
～ぎふ長良川大会～の開催など
自然、清流を育む地域づくり
……………1億4,600万円
- 木質バイオマス等森林資源
のエネルギー活用
……………1億8,370万円

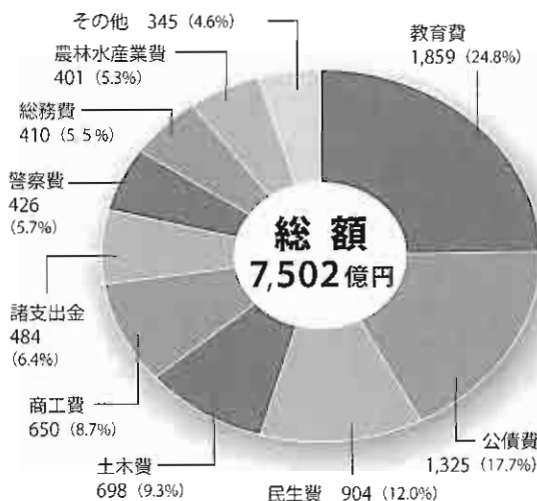


地域の魅力づくりと観光・交流の促進

- 飛騨・美濃じまん観光キャンペーンの展開などによる
国内外誘客と県産品販売の促進 ……3億9,408万円
- 活力ある県土づくりの基礎となる
幹線道路網の整備 ……………173億7,882万円

予算の姿 (歳出)

(単位：億円)



行財政改革アクションプラン初年度

県では、厳しい財政状況の中、平成24年度までを「緊急財政再建期間」と位置づけ、構造的な財源不足の解消を目指してまいります。平成22年度については、約310億円の財源不足が見込まれますが、様々な角度から行財政改革に取り組み、財源不足の解消に努めてまいります。

歳出削減対策 - 122億円 事業の見直しなど

人件費の削減 - 91億円 職員削減や職員給与の抑制など

歳入確保対策 + 97億円 各種基金の活用や県有財産の売却など

上記の記事は、平成22年第1回岐阜県議会定例会に提案された当初予算案をもとに掲載しています。

らせ

納期を守って明るい村づくり！

軽自動車税（平成22年度分）
 国保料／保育料（4月分）
 介護・後期高齢者保険料（普徴4月分）
 納期限は4月26日（月）です

▼問い合わせ先
 人事院中部事務局
 ☎052-961-6838

労働審判制度について

労働審判手続は、個々の労働者と事業主との間に生じた労働関係に関する紛争について、裁判官である労働審判官と労働関係に関する専門家である労働審判員2名で組織する労働審判委員会が、原則として3回以内の期日で審理し、適宜調停を試み、調停がまとまらなければ労働審判を行うという手続で、平成18年4月に始まりました。

労働審判事件の審理期間は平均で2ヶ月半であり、調停が成立して事件が終了するなど、多くの労働関係に関する紛争が労働審判手続の申立てをきっかけとして解決しています。

労働審判手続においては、当事者が早期に的確な主張・立証を行うことが重要であるため、制度の利用に当たっては、法律の専門家である弁護士に相談することが望ましいでしょう。

なお、現在は各地方裁判所本庁のみで取り扱われていますが、制度開始5年目を迎える平成22年4月から、東京地方裁判所立川支部と福岡県地方裁判所小倉支部でも労働審判事件の取扱いが開始されます。

みんなのスポーツ（敬称略）

山越 涼平 君（白川中学校1年生）
 ◆第8回FISチルドレンアベトーネ大会予選会
 期日：2月27日 場所：赤倉観光リゾートスキー場
 結果：SL 1位
 →この結果、FISチルドレンアベトーネ大会に出場が決定するが、辞退。
 ◆第7回ICI石井スポーツ&岡部哲也ジュニアアルペンカップ
 期日：2月28日
 場所：軽井沢プリンスホテルスキー場
 結果：GS 1位（男子中学生）
 ◆JOCジュニアオリンピックカップ兼全日本ジュニア選手権大会
 期日：3月9～10日 場所：蔵王温泉スキー場
 結果：SL（学年別）2位 / SL（全体）18位
 ◆第11回ゴールドウィンナスターレースチルドレン キッズジャパンカップ
 期日：3月13～14日 場所：苗場スキー場
 結果：総合 2位
 →この結果、FISチルドレンカナダウィスラー世界大会（4/8～4/10）に出場が決定。

◆小学生1年男子
 3位 西村 龍也（荻町）
 ◆小学生2年男子
 優勝 新谷 翔也（木谷）
 ◆小学生3年女子
 4位 西村 梨緒（荻町）
 ◆小学生3年男子
 5位 和田 大飛（荻町）
 ◆小学生4年男子
 6位 西村 力也（荻町）
 ◆小学生5年女子
 4位 新谷 ひな子（木谷）

岐阜県スキー連盟公認 ポイントレース
 チャオ ロシニョール ジュニアカップ
 3月22日 チャオ御岳スノーリゾートにて
 大回転競技（6位まで）
 ◆小学生低学年女子
 3位 矢野 礼菜（荻町）

白川村少年サッカークラブ きらめき杯
 フットサルリーグ 2月19日～3月26日
 ◆優秀選手賞
 黒木 大寿、成原 大輔、板谷創十郎、
 板谷京志郎、小洞 拓摩
 ◆得点王 小洞 拓摩

村ふれあいゲートボール大会
 3月17日 ふれあい体育館
 ◆優勝 長生会
 （大洞 森雄、山下幸一郎、寺口きよ子、
 渡邊 久子、坂井 奎子）
 ◆2位 役場
 ◆3位 寿会



山越貴文 君（平瀬小学校6年生）
 ◆第8回FISチルドレンアベトーネ大会予選会
 期日：2月27日 場所：赤倉観光リゾートスキー場
 結果：SL 1位
 →この結果、FISチルドレンアベトーネ大会に出場が決定するが、辞退。
 ◆第7回ICI石井スポーツ&岡部哲也ジュニアアルペンカップ
 期日：2月28日
 場所：軽井沢プリンスホテルスキー場
 結果：GS 1位（男子小学生5-6年生）
 ◆岐阜県スキー連盟公認ポイントレース
 第17回ほおのき平 ジュニアファイナルレース
 期日：3月30日 場所：ほおの木平スキー場
 結果：GS 1位（小学生男子）

第44回大滝山ジュニアアルペンスキー競技会
 3月20日 平湯温泉スキー場にて
 大回転競技（6位まで）

3月の役場日誌から

- 定例課長会議
 イオンとの打合せ、大郷ふる里づくりの会勉強会、選挙管理委員会
 六次総審議会、産業振興整備部会、臨時選挙管理委員会、教育班幹部会議
 京都大学小林研究所来庁、青少年育成推進員会
 第1回議会定例会
 集落座談会（北部地区）
 議員懇談会、経済産業省電源立地地域対策交付金会計検査10日、
 集落座談会（飯島地区）
 社会福祉協議会理事会
 JICAカンボジア視察研修、新規採用職員研修、社会教育委員会、
 集落座談会（鳩谷地区）
 区長宛文書発送、予算特別委員会、
 集落座談会（戸島地区）
 白川郷旅館組合役員会、
 集落座談会（荻町地区）
 集落座談会（南部地区）
 村ゲートボール大会、例月出納検査、
 家庭教育合同運営委員会
 第1回議会定例会、
 白川村統合整備委員会
 農業委員会
 平成21年度第2回伝建審議会
 まるごと体験協議会総会
 白川村民生児童委員協議会、
 白小・平小卒業式
 3月末補正村長ヒアリング、
 社会福祉協議会評議員会
 景観審議会
 議会臨時会、
 子ども会育成委員会男性役員会

●4月の村民憲章実践目標

公共の施設や道路・河川等、普段利用している所をみんなで清掃しましょう。



岐阜県保育士研修会について

県では、県内の保育所等に従事する職員を対象とした研修を実施していますが、今年度は受講対象を拡大し、現在、保育所へ勤務していない保育士資格を有する方も受講対象とします。

▼研修日時

5月中旬～（随時実施）

▼内容

経験年数に応じた研修（初任、中堅等）や、専門研修（乳児、障がい児、子育て支援等）があります。

- * 保育所等に従事している職員と一緒に研修を受講することとなります。
- * 詳細な日時及び内容は、下記問い合わせ先まで確認してください。

▼参加資格

保育所へ概ね1年以内に再就職を考えている保育士資格を有する方。

- * 保育士登録をしていない方で保育士資格を有する方も可。

▼参加費

無料

▼研修会場

岐阜県福祉・農業会館等

▼申込方法・問い合わせ先

県庁子ども家庭課へ電話で受講案内及び申込書を請求してください。

☎058-272-1111（内線2629）

白山スーパー林道ネイチャーウォーキングについて

開通前の白山スーパー林道を歩き、残雪輝く白山国立公園の大自然を満喫してみませんか。

▼日時

5月30日（日） 小雨決行

9時スタート～16時終了

（受付8時半～14時）

▼集合場所

寺尾駐車場（受付後、シャトルバスによりスタート地点へ移動します）

▼参加費用

村民無料

- * 5月20日（木）までに事前申込みが必要です

▼問い合わせ・申込先

役場産業課 建設係まで

☎6-1311

飛騨地域勤労者福祉ライフサポート事業について

4月1日より、労働者福祉協議会（高山市内）において、飛騨地域の中小企業へ勤めている勤労者を対象にライフサポート事業が開始されます。中小企業に働く勤労者の労働福祉向上を目的とし、勤労者の生活全般にかかわる相談業務を行います。詳細は労働者福祉協議会飛騨支部までお問い合わせください。

▼参加資格

飛騨地域にお勤め又は、お住まいの勤労者の方

▼期 日

毎週月曜日～金曜日、但し祝祭日・年末年始（12/29～1/3）は除く

▼時 間

9時～12時、13時～17時

▼問い合わせ先

高山市名田町5 ろうかん3階

☎0577-57-8002

お得な定期券等販売について

濃飛バスのお得な定期券等を、せせらぎ駐車場横の「総合案内所であいの館」で販売します。

▼エコパス（環境定期券）

白川郷～高山間が、1ヶ月 28,000円 で自由に乗降できます。

▼悠々手形（シルバー定期券）

2ヶ月券 4,000円

（65歳以上の村民限定。但し高速バス等の一部路線を除く濃飛バス路線）

- * 期間内であれば、片道500円までの区間は100円、1,000円までの区間は300円、1,010円以上の区間は500円で利用できます。

▼すくーるホリデーきっぷ

小・中・高校生の村民限定

1日券 500円

（1日乗り放題。但し高速バス等の一部路線を除く濃飛バス路線）

* 利用できる日

土曜日・日曜日・祝日及び春休み（3/24～4/4 但し高校卒業者は使用不可）、夏休み（7/21～8/24）、冬休み（12/25～1/4）

▼問い合わせ先

総合案内所であいの館 ☎6-1013

（9時～17時）

お知

白川郷埋没帰雲城調査会講演会について

帰雲城研究の第一人者、松古孝三氏の録音テープ拝聴と、白川郷における宗教史の移り変わりを紹介します。

▼日 時

5月15日（土）16時～18時半

▼場 所

白川村総合文化交流施設

▼講 師

①安達 正雄 氏

演題：「松古孝三氏テレビ出演時の録音テープ拝聴」

②若宮 多門 氏

演題：「中世白川郷における宗教史」

（先着10名様に講演資料を配布します）

▼問い合わせ先

白川郷埋没帰雲城調査会 事務局

野田 秀佳

☎058-371-2036

ニューヨークへ遊学してみませんか

（社）岐阜県青少年育成県民会議では、国際感覚を養うとともに、貴重な経験により青年が大きく成長するよう青年ニューヨーク遊学支援事業を実施します。

▼応募資格

岐阜県にお住まい又は通勤・通学されている18歳～30歳の方（高校生は除く）

▼応募締め切り

5月7日（金）

▼問い合わせ先

（社）岐阜県青少年育成県民会議（岐阜県庁環境生活部男女参画青少年課内）

☎058-268-0302

国家公務員の募集について

人事院は、平成22年度中に次の採用試験を行います。受験案内・受験申込書は郵便でも請求できます。

▼募集職種

国家公務員I種・II種・III種、国税専門官、労働基準監督官、法務教官、航空管制官、刑務官、入国警備官、皇宮護衛官、航空保安大学校学生、海上保安学校学生（特別）、海上保安学校学生、海上保安大学校学生、気象大学校学生

新入園・入学おめでとう

(敬称略)
(保護者)

●平瀬保育園

田口 心春 (貴之・さつき)	浅野 七星 (勉・泰江)	梨谷ひなた (雄次郎・知子)
江崎 志菜乃 (浩司・久美子)	小坂 柚輝 (孝二・久代)	石岡 千弘 (弘秋・真由美)
新谷 凌也 (雄一郎・純)		

●白川保育園

北原 柊亜 (昭宏・香苗)	鈴木 彩加 (さおり)	原 流星 (卓也・景子)
山田 泰輔 (俊行・まゆか)	沢田 大和 (康仁・恵)	清水 掠央 (健吾・美由紀)
田中 世羅 (栄作・あゆみ)	福地 優月 (達也・こずい)	木下 咲和 (則由紀・加那子)
阿部 小倅 (寛大・香織)	加藤 遼 (春喜・貴子)	山本 綺心 (吉志明・愛子)

●平瀬小学校

大塚 光稀 (清輝・恭子)	長田 明佳 (信秀・桐誉)
---------------	---------------

●白川小学校

天野 雄大 (陵登・街子)	板谷 遠三郎 (千華良・瑞紀)	上出 晃大 (智久・紀代美)
木下 達貴 (隆浩・裕美)	北原 乃亜 (昭宏・香苗)	鈴木 生真 (浩二・久枝)
鈴木 麻由奈 (さおり)	滝 愛友夢 (愉鶴・典子)	成原 啓悟 (豊・麻紀)
松下 瑠月 (雅樹・みき子)		

●白川中学校

池田 優菜 (弘志・明美)	石田 聖也 (一・めぐみ)	板谷 創十郎 (千華良・瑞紀)
大田 真未 (忠広・明子)	川田 脩登 (一浩・里子)	木戸口 竜昇 (太・眞希)
黒木 大寿 (徹・亜希子)	沢田 唯菜 (康仁・恵)	杉垣 泉水 (知明・真佐枝)
鈴木 真由 (浩二・久枝)	住 竜希 (徹朗・あゆみ)	高森 健陽 (悟・清美)
武田 翔太 (ルミ子)	寺口 涼馬 (啓淳・薫)	中脇 錬 (理香)
成畑 咲良 (照雄・公湖)	西村 直 (茂和・美鈴)	橋脇 彩 (健・美加子)
藤坂 周磨 (俊幸・泰子)	水木 杏花 (愛彦・正美)	山越 貴文 (昌徳・志乃)
山下 陸 (正樹・直美)	横井 麻衣 (一巴・清美)	脇淵 星 (晴行・由美)
和田 春瑠菜 (典勝・めぐみ)		



教職員・警察官の異動 (敬称略)

●お世話になりました ()は転任先

〈平瀬小〉 梶井 義隆 (関市立洞戸小学校)	高木 栄司 (可児市立中部中学校)
足立 幸生 (高山市立宮中学校)	
〈白川小〉 上野 智美 (郡上市立白鳥中学校)	下島 益世 (高山市立新宮小学校)
〈白川中〉 高井 信行 (可児市立広見小学校)	上野 和重 (郡上市立群南中学校)
横山 直樹 (高山市立松倉中学校)	河出 美幸 (高山市立朝日小学校)
岡村 裕子 (飛騨市立古川中学校)	金村 槇子 (中津川市立神坂中学校)
藤下 景一 (東濃地区特別支援学校)	
〈鳩ヶ谷駐在所〉 田本 政英 (岐阜県警察本部交通規制課)	

●よろしくお願ひします ()は前任地

〈平瀬小〉 戸村 和夫 (伊自良青少年の家)	野首 章吾 (高山市立山王小学校)
堀 夏代 (非常勤講師)	
〈白川小〉 岩見 光洋 (岐阜市立長良東小学校)	楽田 雅美 (高山市立清見小学校)
虎井 達哉 (常勤講師)	
〈白川中〉 下垣内たか子 (高山市教育委員会)	堀 治夫 (安八町立登龍中学校)
野村しのぶ (養老町立池辺小学校)	内山 卓也 (高山市立東山中学校)
肥垣津雅志 (高山市立中山中学校)	石原 里実 (常勤講師)
石水絵梨香 (常勤講師)	
〈鳩ヶ谷駐在所〉 上藤健一郎 (岐阜北警察署生活安全課)	

消防団辞令交付

4月1日(木)、白川小学校体育館において村消防団の辞令交付式が行われ、村長、団長より退団辞令、入団辞令、進級辞令、異動辞令、任命辞令が交付されました。()は前階級、敬称略

▼退団辞令 長い間ご苦勞様でした

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| ▽倉 嘉宏 (副団長) | ▽西村 利夫 (本部部長) | ▽中脇 哲哉 (大郷団員) |
| ▽根尾 俊道 (教育分団長) | ▽白井 徹 (大郷部長) | ▽倉家 誠樹 (南部団員) |
| ▽成畑 弘則 (本部分団長) | ▽山崎 達也 (大郷部長) | ▽下目 達哉 (大郷団員) |
| ▽吉脇 満 (大郷分団長) | ▽中森 孝博 (南部班長) | ▽北 聡一郎 (大郷団員) |
| ▽上手 英二 (中部分団長) | ▽石坂 康 (中部班長) | |

▼入団辞令 よろしくお願ひします

- ▽大郷分団 = 澤 諭喬 (鳩 谷)
 ▽中部分団 = 野村 聖人 (萩 町)

▼異動辞令

- ▽教 育 班 = 鈴木 雅彦 (本部副分団長)

▼任命辞令

- ▽操法指導員 = 高桑 徹司 (教育分団長)
 ▽教 育 班 = 幅 利之 (大郷部長)
 ▽教 育 班 = 松下 雅樹 (本部部長)



▼進級辞令 一層のご活躍を

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ▽副 団 長 = 和田 茂 (教育分団長) | ▽中 部 部 長 = 山下 隆生 (同班長) |
| ▽本部分団長 = 宮丸 和之 (同副分団長) | ▽大 郷 部 長 = 沢田 康仁 (同班長) |
| ▽教育分団長 = 高桑 徹司 (同副分団長) | ▽大 郷 部 長 = 吉脇 豊 (同班長) |
| ▽大郷分団長 = 宮田 哲浩 (同副分団長) | ▽本 部 部 長 = 松下 雅樹 (同班長) |
| ▽中部分団長 = 根尾 孝 (同副分団長) | ▽中 部 班 長 = 野村 昭吾 (同団員) |
| ▽中部副分団長 = 木戸口 太 (同部長) | ▽大 郷 班 長 = 松下 正毅 (同団員) |
| ▽本部副分団長 = 成原 伸次 (同部長) | ▽大 郷 班 長 = 大澤 珠生 (同団員) |
| ▽大郷副分団長 = 下方 健弘 (同部長) | ▽南 部 班 長 = 山下 修自 (同団員) |
| ▽本部副分団長 = 鈴木 雅彦 (同部長) | ▽南 部 班 長 = 小川 晋一 (同団員) |
| ▽本 部 部 長 = 大溝 長雄 (同班長) | ▽本 部 班 長 = 萩田 正巳 (同団員) |
| ▽南 部 部 長 = 山越 昌徳 (同班長) | ▽大 郷 班 長 = 成原 豊 (同団員) |
| ▽大 郷 部 長 = 幅 隆道 (同班長) | ▽中 部 班 長 = 池田 弘志 (同団員) |

編集者のひとりごと

サッカーロシアリーグのCSKAモスクワに所属する本田圭佑選手が、欧州チャンピオンズリーグ決勝トーナメント1回戦で決勝ゴールとなるフリーキックを決めるなど、1得点1アシストの大活躍。ベスト8の立役者となりました。現行のチャンピオンズリーグでは日本選手初の8強入り、また決勝トーナメントでのゴールも日本選手初の快挙となりました。決勝トーナメント準々決勝では強豪インテルに惜しくも敗れましたが、この貴重な経験は6月のワールドカップ日本代表でも生かされるのでは、と期待しています。

本田選手は石川県の星稜高校出身ですが、星稜高校出身といえ、米大リーグ、エンゼルス、松井秀喜選手を忘れてはいけません。開幕戦では4番スタメン、決勝打に移籍1号ホームランと、こちらも大活躍。新天地で鮮烈デビューを飾りました。松井選手は私と歳が一緒ということもあり、応援にも力が入るのですが、今年はシーズン通して怪我なくプレーし、活躍できると願っています。

5月9日は アイスクリームの日

1869(明治2)年のこの日、日本で初めてアイスクリームが製造・販売されたのを記念して、社団法人日本アイスクリーム協会が制定しました。同協会では、イベントの開催などを通じて、アイスクリームのPRに努めています。

アイスクリームの歴史は古く、日本の王朝時代には、削り氷にシロップのようなものをかけた氷菓が上流貴族の間で食べられていたようです。当時は、一部の貴族やお金持ちしか食べることのできない貴重品だったのです。

日本人とアイスクリームの初めの出会いは、1860年の幕末。アメリカへの使節団の一人が航海日誌にアイスクリーム(当時の呼び名は「あいすくりん」と書き残しています。そして69年、勝海舟に私淑し、渡米経験のある町田房蔵が、あいつくりんを製造・販売するお店を

横浜に開きました。アイスクリームは文明開化のシンボルとなり、舞踏会や晩餐会のデザートとして欠かせない存在になりました。

大正時代には工業生産がスタートしたこともあり、一般にもアイスクリームは浸透していききました。戦後、アイスクリームの大衆化は進み、「ホームランバー」や「ジャイアントコーン」など、今に残るアイスクリームの名品が続々と売り出されたのです。

これら市販のアイスクリーム以外にも、最近では季節の果物や地元名産の食べ物素材にしたアイスクリームが売られています。観光シーズンを前に、旅行プランを立てている人も多いでしょう。旅先でご当地ならではのアイスクリームを食べるといっても、旅の一つの楽しみ方ではないでしょうか。甘くて冷たいアイスクリームが、きっと旅の疲れを癒してくれることでしょう。

社団法人日本アイスクリーム協会
<http://www.icecream.or.jp/>

日 曜	事 項	日 曜	事 項
18 日	家庭の日	1 土	
19 月		2 日	
20 火		3 月	憲法記念日
21 水		4 火	みどりの日
22 木	子宮頸がん・乳がん検診 9時半～11時(白川診療所)、 13時半～14時半(平瀬診療所)	5 水	こどもの日
23 金	リサイクルハウス受入日	6 木	両園合同子どもの日小運動会(保育園)
24 土		7 金	リサイクルハウス受入日
25 日		8 土	
26 月	村税・保険料等納期限 学費口座振替日(平小)	9 日	リサイクルハウス受入日
27 火		10 月	
28 水	学費口座振替日(白小・白中)	11 火	
29 木	昭和の日 一斉美化運動	12 水	区長宛文書発送
30 金	リサイクルハウス受入日	13 木	

白川村人 元気の素は! 拡大版

Vol. 81

「新職員・警察官の紹介」



鈴木 久美さん
(村民課 看護師)

住 所: 荻 町
趣 味: ウォーキング
ひとこと: 4月から勤務させていただきます、子ども2人のママ看護師です。診療所へ来られた際には、是非声をかけてください。どうぞ、よろしくお願ひします。



大倉 奈美さん
(村民課 保育士)

住 所: 平 瀬
趣 味: スキー、食べること
ひとこと: 白川村に戻ってこれることができました。子どもたちに負けないくらい、明るく元気よく頑張ります。



上藤 健一郎さん
(鳩ヶ谷駐在所)

前勤務地: 岐阜北警察署 生活安全課
趣 味: スキー、読書
ひとこと: 出身は兵庫県神戸市で、白川村には初めて来ました。村民の皆様の安全・安心を守るため、全力を尽くします。

むらの人口

男 865 人 (-17)
女 920 人 (- 6)
計 1,785 人 (-23)
世帯数 570世帯 (-12)
高齢化率 28.6%
4月1日現在、()内は前月比

● おくやみ 申し上げます

戸川 準治(平瀬) 88歳
3月16日

3月27日 富山県南砺市
安田 希美(富山県南砺市)
今藤 亘(荻町)
3月9日 石川県金沢市
小谷 薫(富山県)
板谷 優也(荻町)
3月3日 大阪府
大田 恵子(荻町)
松丸 直也(北福九州市)
3月4日 牧
後藤真紀子(神奈川県横浜市)

○ 未永くお幸せに

2月22日 千葉県船橋市
遠山はる菜(御母衣)

清水 聖人(愛知県春日井市)
野村明日香(荻町)
3月3日 荻町

日下部 円(牧)
3月4日 牧

戸籍の まどぐち



発行 ■ 白川村役場 総務課
〒501-5692
岐阜県大野郡白川村大字鳩ヶ谷517番地
TEL 05769-6-1311 FAX 05769-6-1709

ホームページ ■ <http://shirakawa-go.org>
Eメール ■ kouhou@shirakawa-go.org
印刷 ■ 牧印刷株式会社

白川村職員配置・事務分掌表

(平成22年4月1日付)

村長 谷口 尚 教育長 成原 茂

総務課			
参事兼総務課長 板谷 孝明			
担当	係	係員	主な業務
行政担当	議会事務局	岩本 一也	議会提出議案の調整、議会の連絡調整、議事録、条例・規則の制定改廃
	庶務係	根尾 源子・田口 賢之	行政、給与、情報公開、職員共済、行政相談委員、区長会、特別職報酬等審議会、職員研修、共済(団体保険)、女性政策、郡町村会、公平委員、村長秘書、他課に属さないもの、消防防災、交通安全対策、同報無線、国民保護計画、選挙管理委員会
	税務係	大澤 珠生・和田 寛親	村税、国税、県税連絡、公函、各種証明、納税相談
	管財係	成畑 弘則・鈴木 翔	財産(建物・土地)管理、移動通信、庁用車管理、運搬、指名業者選定、指名願受付、入札執行、契約、マイクロバス業務、物品・備品管理、地籍、村営住宅(鳩谷・木谷)、法定外公共物、情報通信、共済(建物・自動車)統計、庁舎管理
政策担当	環境計画係	吉貴 秀典・坂本 弥生 白木 秀史・山下 武彦 松井 則幸	リサイクルハウス、温暖化対策、環境保全、廃棄物処理、公害防止、NPO育成、公共交通、広域公費、土地利用対策、国際交流、環境行政、行政改革、単独村推進対策、総合計画・広域行政、プロジェクト事業計画調整、消費者行政、定住村づくり対策
	財政係	近藤 久善・尾崎 達也	予算、村債、地方交付税、電源立地交付金、農林補助金、過疎・辺地計画、村補助金、交付金、固定資産評価審査委員会、監査委員会

村民課			
村民課長 向 長和			
担当	係	係員	主な業務
健康福祉	村民福祉係	岩本巳保子・松下 雅樹 福地香与子	児童・老人・障がい者・母子・寡婦福祉、国民年金、福祉年金、福祉医療、子ども手当、国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業、老人クラブ、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録・発行、保護司、人口動態、外国人登録、埋火葬、犯罪等の通知、シルバー人材センター、斎場、行旅病人死亡人、人権施策、献血推進
	保健衛生係	山下 修自・大塚 秀美 榎 理恵	村社会福祉協議会、民生児童委員協議会、介護保険事業、畜犬登録、日赤、食品衛生、成人保健・歯科保健・母子保健、住民健診、食生活改善、機能訓練、保健推進活動、高齢者筋力トレーニング事業、地域包括支援センター
診療所	事務長 萩原 信義	平 瀬 瀬	診療業務、訪問介護、老人福祉センター、諸証明発行
	診療所 伊佐次 悟	白 川	
保育園	平瀬保育園	和田そのみ・鈴口 久美 (平診・白診) (平診・白診)	診療業務、訪問介護、国民健康保険特別会計(直診)
	白川保育園	東 繁代・山下千代美 (白診) (白診・臨時)	
保育園 園長 谷藤 博章	白川保育園	白井久美子・北原 香苗	保育業務
		川瀬 三節・坂本 高理 池尾 聖子・高畠 宏彰 大倉 奈美(新採)	保育業務

産業課			
参事兼産業課長 宮脇紀忠			
担当	係	係員	主な業務
建設担当	建設係	飯波直文・成原伸次 南昌和・石田一	一般土木、村道、農道、水路、普通河川管理、砂防、東海北陸自動車道対策、工事検査、査察指導等、除排雪、屋外広告物、農地整備、交通対策、上下水道事業、道の駅、平瀬街並整備、白山スパー林道、治山、林道
観光農林担当	商工観光係	古田直樹・谷藤裕木子 西村利夫・高島祐哉	観光振興、観光情報の収集提供、観光イベント開催、観光施設の維持管理、商工業の振興、労働に関する事、スキー場事業、温泉開発事業、自然公園、企業誘致、雇用対策
	農林係	鈴木雅彦・大溝長雄 平田陽平 斉藤政隆(農業改良普及員)	農業、畜産、農業改良組合、農業共済、農業者年金、農振法事務、農林統計、林業振興、特産林産物、有害鳥獣駆除、公有林整備、花いっぱい運動、農業改良普及事業、特産品販売振興、農業委員会

会計室			
会計管理者 水野慎治			
担当	係	係員	主な業務
会計担当	会計係	小坂奈緒美	支払、公金の収納、基金の運用管理、決算(財)繰地資源開発公社、財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団の支払、文書受付・発送

教育委員会事務局			
事務局長 宮丸和之			
担当	係	係員	主な業務
	生涯教育係	藤田正紀(社会教育主事) 萩田正巳・高島一成 (学校) 山下真和恵・山口恵子 手塚玲子・野村和美 新谷さゆり(臨時) ベリル・ファン(ALT)	教育委員会、学校施設整備運営、スクールバス、給食センター、ALT、児童生徒の就学、児童生徒の福利厚生、教科書・図書、地域女性協議会、乳幼児・家庭・中高年・高齢者教育、人権回和教育、図書館管理、公民館活動支援、村民意識推進、青少年育成村民会議、各種団体育成、社会教育・体育施設、社会体育、平瀬・白川小学校、白川中学校、平瀬力ルチャールセンター、ふれあい体育館管理、白川村体育協会
	文化財係	松本継太 (財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団から出向)	文化財、匠建群地区保存、文化財調査、文化財保護審議会、旧遠山家民俗館、匠建地区保存審議会

5014290

岐阜県大野郡白川村鳩谷五一七番地

白川村役場内

白川村を元気にする声係行



料金受取人私郵便

郵便番号 120
郵便支店承認

送付有効期間
平成22年11月
30日まで

(切手不要)
全

みんなで 日本一美しい村 つくらまいか

白川村を元気にする声

あなたのご意見、ご提言を聞かせてください

村民の皆さんが参加し、目標をつくっていくことが村づくりに必要不可欠です。皆さんが日頃行政へ望んでいること、村づくりのアイデア等、どんなことでも構いません。次の(第六次総合)計画づくりに役立たせていただきたいと考えていますので、あなたのご意見をお気軽にお寄せください。

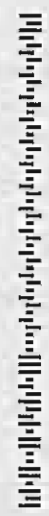
なお、いただいたご意見や質問の回答は、できるかぎり村広報誌に掲載する予定ですが、掲載できなかつた場合でも、今後の村づくりに反映していきたいと考えています。匿名希望も受け付けますが、できるだけ住所・氏名・電話番号の記入をお願いします。

電子メールでも特設アドレスをもうけてご意見を募集しています。

【メールアドレス】
minnanoiken@vill.shirakawa.lg.jp
(みんなの意見)

お問い合わせ
白川村役場 総務課 環境計画係
☎05769-6-1311

◎切手は貼らずに投函ください。



のりしろ

▲できるだけ記入ください。匿名を希望する方は○印を

住所	氏名	電話番号	匿名希望

点線から切り取ってください。

のりしろ

のりしろ